

《数値目標》

【中間アウトカム】

	指標	現状	目標
2	佐賀県災害医療コーディネーター数(県調査)	25人 (2022年)	現状維持 (2029年)
	地域災害医療コーディネーター数(県調査)	55人 (2022年)	現状維持 (2029年)
	佐賀県災害薬事コーディネーター数(県調査)	53人 (2023年)	48人以上を維持 (2029年)
3	災害拠点病院の指定要件を充足している病院数(県調査)	1病院 (2022年)	8病院 (2029年)
	DMAT 指定医療機関の数(県調査)	8病院 (2023年)	9病院 (2029年)
	DMAT の整備数(隊数、人数)(県調査)	29チーム150名 (2023年)	40チーム190名 (2029年)
	災害拠点病院のEMIS入力訓練参加率(県調査)	100% (2023年)	現状維持 (2029年)
	浸水想定区域に所在する災害拠点病院の浸水対策の達成率(県調査)	100% (2022年)	現状維持 (2029年)
4	災害拠点病院以外の病院における業務継続計画(BCP)策定率(県調査)	25% (2022年)	100% (2029年)
	災害拠点病院以外の病院におけるEMIS入力訓練参加率(県調査)	59% (2023年)	100% (2029年)
	浸水想定区域に所在する病院(災害拠点病院以外の病院)の浸水対策の達成率(県調査)	81% (2022年)	100% (2029年)
5	DPAT の整備数(人数)(県調査)	298名 (2022年)	現状維持 (2029年)
	災害拠点精神科病院数(県調査)	1病院 (2023年)	現状維持 (2029年)
6	原子力災害拠点病院数(県調査)	3病院 (2023年)	現状維持 (2029年)
	原子力災害協力機関数(県調査)	7機関 (2023年)	10機関 (2029年)

【個別施策】

	指標	現状	目標
7	地域災害医療コーディネーター研修会受講者数(県調査)	64人 (2022年)	120人 (2029年)

8	災害薬事コーディネーター研修会受講者数 (県調査)	54人 (2023年)	66人 (2029年)
9	災害時の医療チームの受入を想定した災害訓練参加者数(県調査)	0人 (2022年)	-
	災害時の医療チームの受入を想定した災害訓練の実施回数(県調査)	0回 (2022年)	-
10	二次医療圏ごとの災害連絡会開催数 (県調査)	0回 (2022年)	1回 (毎年)
11	災害拠点病院における業務継続計画(BCP)策定数(県調査)	8病院 (2023年)	現状維持 (2029年)
12	DMAT 養成研修参加者数(県調査)	13人 (2022年)	現状維持 (2029年)
13	災害訓練を実施している災害拠点病院数 (県調査)	6病院 (2022年)	8病院 (2029年)
14	EMIS 入力訓練実施回数(県調査)	1回 (2023年)	-
15	佐賀県災害医療従事者研修会参加者数 (県調査)	33人 (2022年)	100人 (2029年)
16	DPAT 研修(技能維持研修)参加者数 (県調査)	-	18人 (2029年)
17	災害拠点精神科病院に所属する職員のDPAT 先遣隊研修参加者数(県調査)	4人 (2022年)	-
18	原子力災害医療に関する研修受講者数 (県調査)	25人 (2022年)	42人 (2029年)
19	原子力災害医療訓練実施回数 (県調査)	1回 (2022年)	現状維持 (2029年)